

## ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年10月分）

### [殺傷事件・銃撃事件関連]

10月7日[銃撃事件] 午後4時30分頃、ベリーズ市のモパン通りとマカボニー通りにおいて、元ギャングメンバーの男性（47歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、何者かが被害男性に向けて数発の銃弾を発射し、被弾した被害男性はその後、マホガニー通りからシッティー通りへと車を走らせたが、別の車に衝突して意識を失った。被害男性はKHM病院に救急搬送されたが、死亡が確認された。警察は事件の捜査を継続している。

10月10日[銃撃事件] 午後9時30分頃、カヨ郡ユナイテッドビル村に住む警察官が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、通報を受けた警察官が現場に到着したところ、同村に住むオズワルド・ヤング巡査が銃撃され死亡しているのを確認した。これまでの捜査で、ヤング巡査は当時、ベリーズ市のベラマ第4分署に通勤するため、移送車を待っていたことが判明している。この時、不審な男がヤング巡査へ数発の銃弾を発射した。動機は現在まで解明されていない。なお、ヤング巡査は過去に、トレド教員信用組合に対する強盗及び、違法薬物密売の罪で禁固刑に処せられた人物である。

10月21日[銃撃事件] 午後11時頃、ベリーズ市のナース・フィンドリー・クレセントにおいて、男性（37歳）が死亡する銃撃事件が発生した。通報を受けた警察官が現場へ到着すると、被害男性が複数の銃創を負って倒れているのを発見した。その後、KHM病院へ緊急搬送されたが、死亡が確認された。警察官らによると、身元不明の銃撃犯が被害男性に近づき、数発の銃弾を発射した後、逃走した。当局は、犯罪捜査局（CIB）が市内の警備を強化する中、容疑者の捜索を続けている。

10月24日[銃撃事件] 午前7時頃、ベリーズ市のコンプレックス通りにおいて、母娘が銃撃され母親（30代）が死亡する事件が発生した。警察によると、母娘が自宅でくつろいでいたところに銃撃犯らが侵入し、複数発砲した。この銃撃で母親が死亡、娘（10代）も負傷し、病院へ救急搬送された。警察は捜査を継続している。

### [強盗事件・窃盗事件関連]

10月7日[強盗事件] 午前1時頃、ベリーズ市のベルチナ橋付近において、男性（23歳）が携帯端末を強奪される事件が発生した。警察によると、被害男性が帰宅途中、5人の男が車から降りて銃を突きつけ、所持していた携帯電話を盗んだ。通報を受けた警察はすぐにリ

ンドス・アレー付近で強盗犯らの車両を発見し停止させ、乗っていた男性5人を発見した。その後、警官らにより被害男性の携帯端末回収し、被害男性へとい返却された。容疑者は全員、警察署に連行された。

10月10日[侵入窃盗事件] 午前11時頃、カヨ郡サンイグナシオ町のピザ屋「ピザ・ボーイズ・ピザ」において、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、事件は前日の9日発生し、ピザ生地、チーズ、ソース類、調味料が盗まれ、冷蔵庫の配線が切られていた。警察は近隣住民へ聞き込みをしつつ、事件の捜査を続けている。

10月19日[窃盗事件] 午前10時頃、ベリーズ市内の市場から野菜を盗まれる事件が発生し、男性(45歳)が逮捕、起訴された。警察によると、盗みを働いた被告は当時、空腹のあまり市場からBZ\$95(約7千円)相当の野菜とペッパーソースを盗んだ。被告は地方裁判所へ出廷し、自身の罪を早期に認め、BZ\$305(約2万2千円)の罰金刑が言い渡された。罰金が支払えない場合は、2ヵ月間の禁固刑に処せられる。

## [違法薬物・違法銃器類関連]

10月2日[違法薬物の密売幫助] 午前10時頃、ベリーズ市の税関職員でもある兄妹2名が高級大麻の密輸を幫助したとして逮捕、起訴された。被告らは、大麻の輸入に関する部署で勤務しており、横流しした大麻を入浴剤やボディケア用品と称して密売使用とした疑いで逮捕、起訴され、地方裁判所へ出廷した。地裁判事は被告らに対し、ベリーズ国外への出国禁止を条件に、BZ\$20,000(約150万円)の保釈金を提示した。

10月4日[違法薬物の密売] 午後4時頃、ベリーズ市のサン・マルタン・デ・ポレスに住んでいる男性(28歳)がコカインを密売しようとした罪で逮捕、起訴された。被告は12グラムのコカインを所持していたところを巡回中の警察官に発見された。被告はその後、地方裁判所に出廷し自身の罪を認めた。この被告にはBZ\$6,670(約50万円)の罰金刑が科せられた。罰金が支払えない場合は、3年の懲役刑に処せられる。

10月8日[違法薬物の所持] 午後5時頃、ベリーズ市の港湾労働者の男性(25歳)が、規定量以上の大麻を所持していたとして逮捕、起訴された。被告は、規制量10グラムに対して13.6グラムの大麻を使用目的で所持していたところをパトロールしていた警察官に発見された。その後、地方裁判所へ出廷し、自身の罪を早期に認めた。治安判事は被告に対し、BZ\$145(約1万円)の罰金刑を言い渡した。

10月17日[銃器類の違法所持] 午後2時頃、カヨ郡サンイグナシオ町のマヤ通り沿いの住宅において、違法に銃器類を所持していたとして、この家に住む男性3名が逮捕。起訴された。警察によると、匿名の通報を受けた警察が現場へ到着すると、高性能ライフル銃3丁、弾倉2個、弾薬195発が発見され、その他部品類等を含め押収した。家主らは銃器類所持の許可証を所持していたため、拘束された。男性らは裁判が開始されるまで警察署に拘留される。

10月8日[違法薬物の所持] 午前10時頃、ベリーズ市在住の男性(66歳)が0.24グラムのコカインを所持していたとして逮捕、起訴された。被告は、24日の夕方頃、オレンジ通りをパトロール中の警察官に呼び止められ、身体検査をしたところコカインを所持していたのが発見された。被告は、地方裁判所へ出廷し、地裁判事から過去にも同様の犯罪歴があったため、その場で懲役8ヵ月を言い渡した。その後、被告はベリーズ中央刑務所へ送致された。

## [その他事件・事故関連]

10月4日[死体遺棄事件] 午後5時頃、ベリーズ市アマンダラ道とセメタリー道の交差点に設置してあるゴミ箱の中から、身元不明の女性の死体が発見された。警察によると、通行人の男性がゴミ箱に捨てられた瓶を探していたところ、女性の死体が発見し、警察へ通報した。到着した警察官は現場の実況見分をし、遺体はKHM病院へに搬送され、正式に死亡宣告をされた。その後、国立科学捜査研究所の遺体安置所に移送され、そこで死後鑑定が行われる。警察は殺人事件として捜査を続けている。

10月9日[爆破予告事件] 午前10時頃、ベリーズ市の治安判事裁判所において、爆弾を設置したとの脅迫電話があった。警察によると、治安判事裁判所は出席者全員の安全確保をするため、予定されていた審理は全て中断し、建物外へ避難した。この脅迫は、ギャング関係者の起訴とほぼ同じタイミングで発生した。現場の警察官は、裁判所の業務を再開する前に、爆発物処理専門家による爆発物の検索を行い、安全を確認した。警察は引き続き、この事件の動機について捜査を行っている。

10月13日[禁止魚類の所持] 午前10時頃、ベリーズ市の漁師(26歳)が漁業規制で禁止されているタイマイ(ウミガメ)の肉を所持していたとして逮捕、起訴された。この事件は、漁業局職員による船内検査の際に禁止捕獲魚類のタイマイの肉が発見された。タイマイは絶滅危惧種に指定されており、ベリーズでは漁獲や殺生、所持が禁止されている。その後、逮捕された。被告は治安判事裁判所で自身の罪を認め、治安判事は被告に対し、BZ\$1

4,000（約105万円）の罰金刑を言い渡した。

10月26日[放火事件] 午前0時30分頃、オレンジウオーク郡オレンジウオーク町の住宅において、駐車していた車両が放火される事件が発生した。警察によると、被害女性が帰宅した直後、近隣住民から車両が燃えていると声を掛けられた。通報を受けて現場へ到着した警察官が捜査したところ、燃え跡から可燃性の燃料が入れていた瓶を発見した。警察は近隣住民へ注意喚起するとともに、事件の捜査を続けている。